

食物アレルギーを持つ子どもさんの保護者の方へ



香川県小児科医会食物アレルギー対策委員会

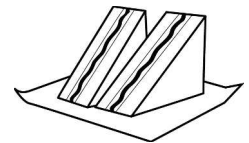
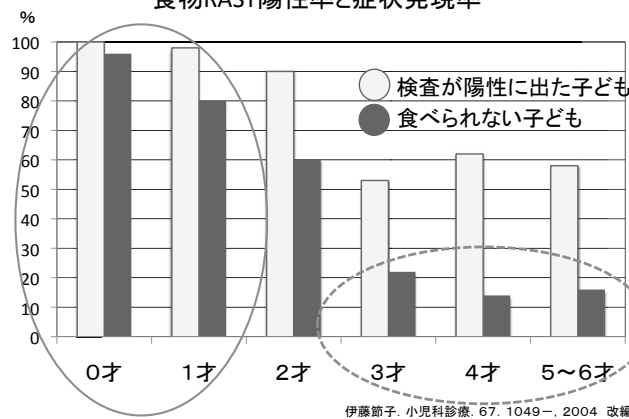


食物アレルギーを持つ子どもは増えています。



子どもが大きくなると血液検査で反応が出ていても食べられる事が多くなり、実際に食べてみる検査（食物経口負荷試験）が必要になります。

アトピー性皮膚炎児における年齢別
食物RAST陽性率と症状発現率



食物負荷試験は以下の事を知るために行われます。

- ①食物アレルギーの正しい診断のため
- ②食べられるようになった事の確認
- ③間違っって食べた時の危険性の評価
- ④安全に食べられる量を決めるため

この検査にはリスクが伴うため、どの医療施設でもできるわけではありません

私たちは負荷試験の紹介を受ける事ができる医療施設を把握し、公開しています。

食べられない状態が続く場合は、かかりつけ医と相談の上、必要であれば紹介を受けてください。（負荷試験をするかどうかは受診後の判断となります）

私たちは一人でも多くの子どもが不要な制限をすること無く
安全に楽しく食べることができるよう
アレルギーで命の危険にさらされる子どもが一人でも減るよう
願い活動しています